

IV 調査結果の概要

1 ねらい：児童・生徒の自尊感情を把握する。
児童・生徒の自己評価に対する教員のとらえ方及び指導の状況を調査する。

2 期間：平成20年11月から12月

3 対象：都内公立小・中学校、都立高等学校 各10校の全児童・生徒及び教員

4 方法：質問紙法（4件法）

5 回収数（名）

	小学校	中学校	高等学校
児童・生徒	4,030	2,855	5,855
教員	162	175	373

＜児童・生徒の状況＞

4：そう思う 3：どちらかというと思う 2：どちらかというと思わない 1：思わない

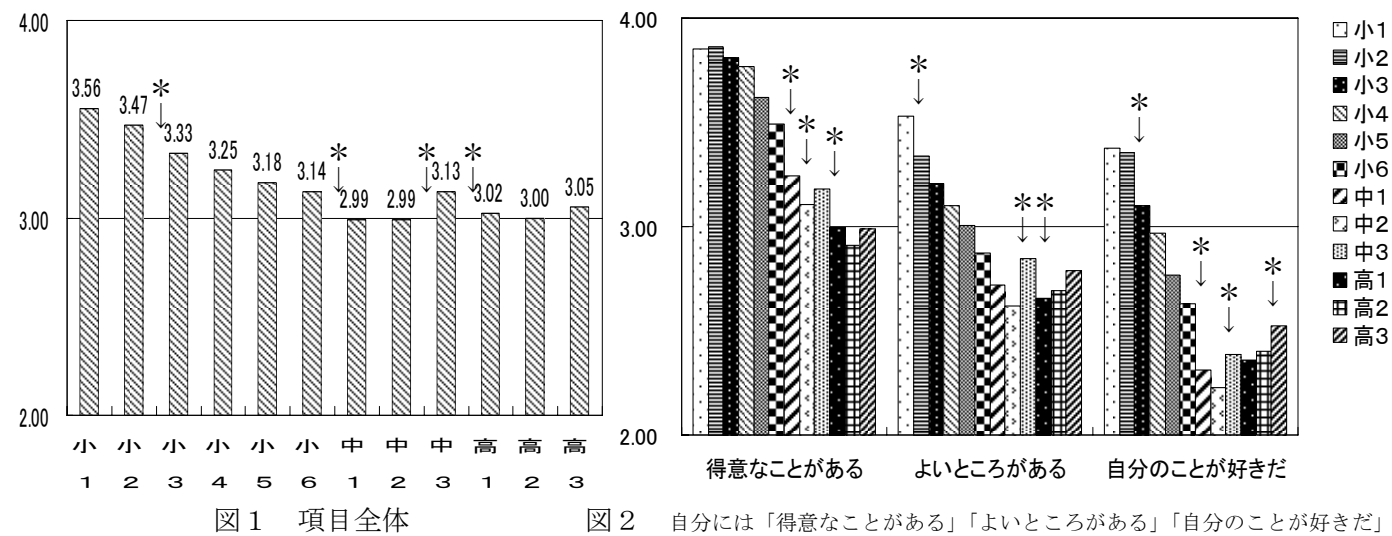


図2 自分には「得意なことがある」「よいところがある」「自分のことが好きだ」

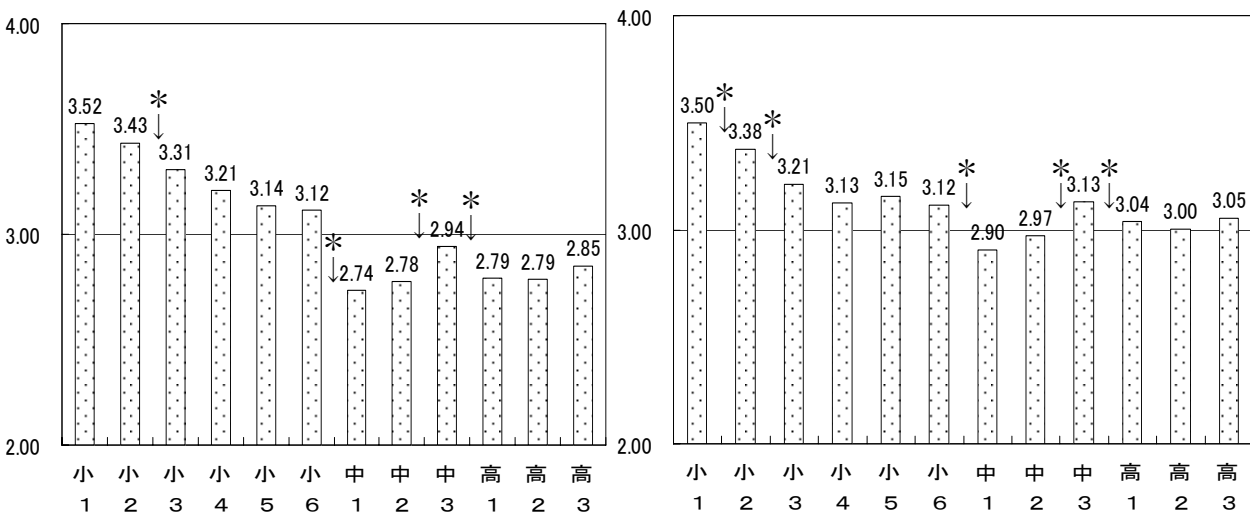


図4 「B 自分の役割」

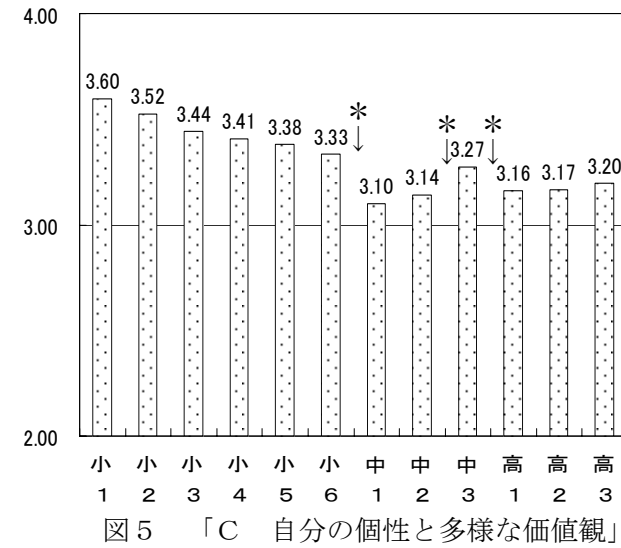


図6 「D 他者とのかかわりと感謝」

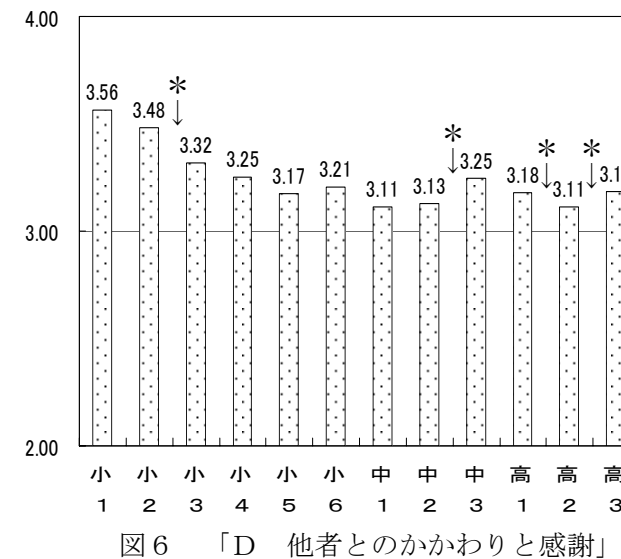


図7 「E 自分の可能性」

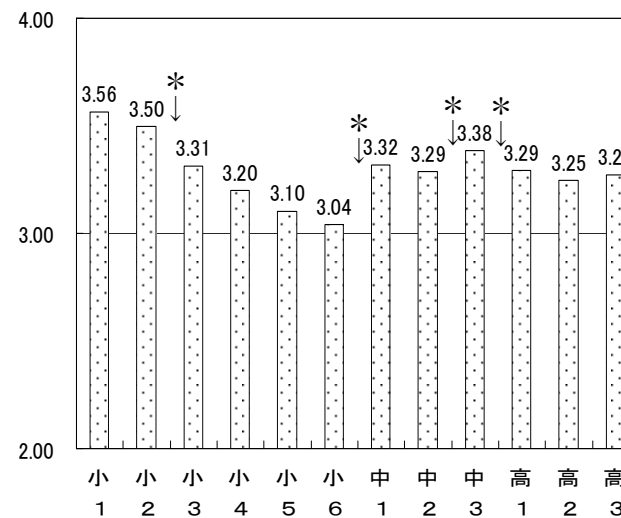


図8 教員の意識「担当する児童・生徒は、どのような状況であると思うか。」

＜教員の意識と児童・生徒の意識＞

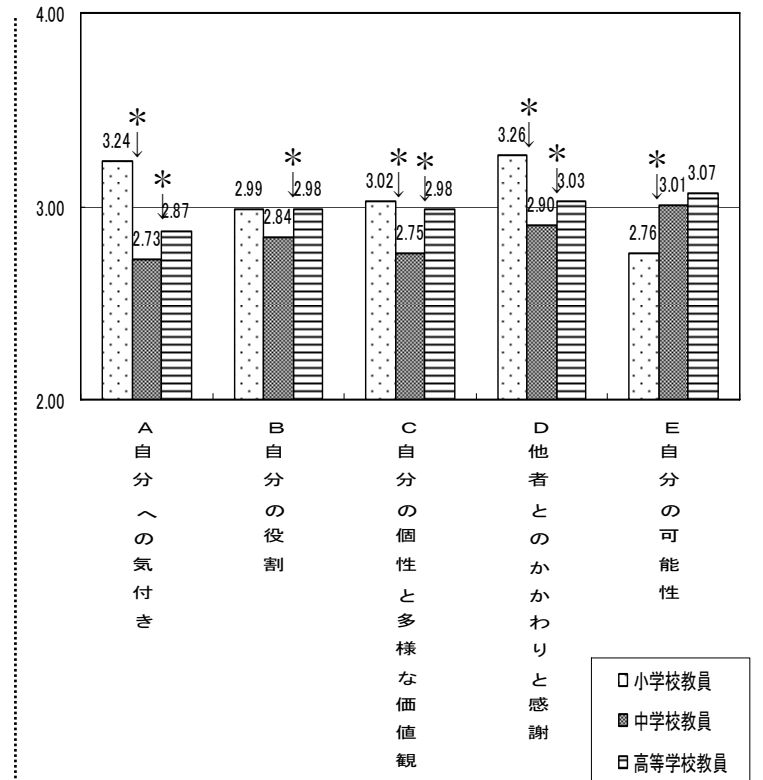
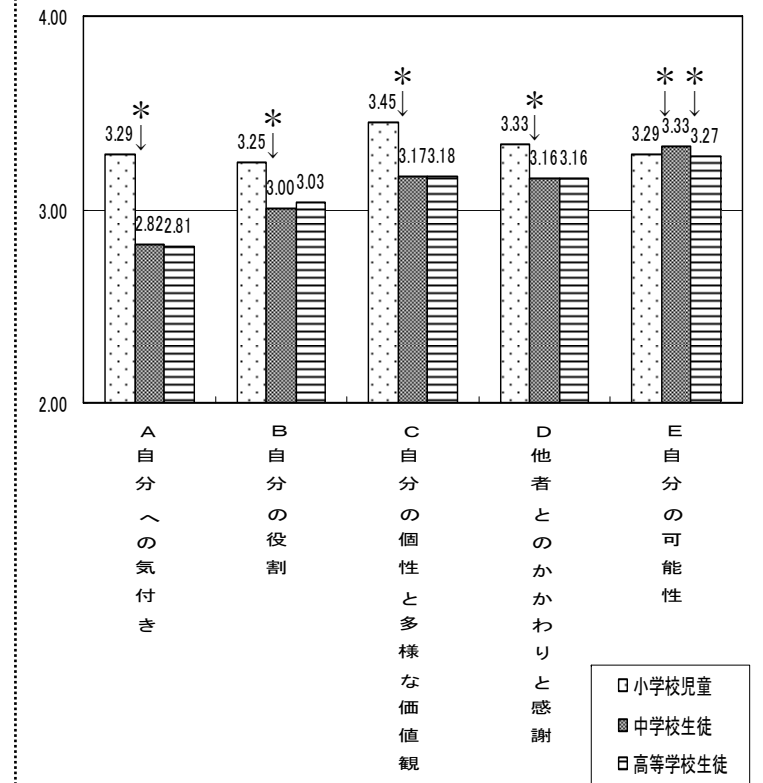


図9 児童・生徒の意識



注1：グラフでは、1.00から2.00までの目盛りを表示していない。
注2：*印は、学年差に統計上、有意差が見られたところを示す。